

# 後期基本計画 施策(目標)構成 検討報告

## 基本目標Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

とりまとめグループリーダー

目標(6) : 地域産業グループリーダー

目標(7) : 市民生活グループリーダー

### 1. 中期基本計画の施策(目標)構成

目標(6) 産業を活性化して、まちを元気にします【産業・観光】	
目標達成に向けての考え方	働く場や消費の場として市民の日常の暮らしを支え、まちの活力を生み出す基盤である産業(農業・商業・工業など)を活性化するため、現場のニーズをふまえた振興策や、事業者やまちの強みを伸ばす取組みを応援していきます。
目標が達成された姿	①事業者やまちの強みを活かした産業活動が、活発に行われています。 ②新たな雇用や消費が生まれ、市民生活の基盤が安定しています。 ③まちの元気を生み出そうと、意欲を持った市民や団体が、ビジネスの手法による地域課題解決や活性化に向けた行動を起こしています。 ④まちの魅力や自慢が市内外に知られ、高浜市で過ごす時間を楽しむ人が増え、賑わいや活気が生まれています。

### 2. 後期基本計画の施策(目標)構成【案】

施策(目標)構成を「現行どおり」とする理由 ・ 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>「産業が活性化して、まちが元気になっていると思う人の割合」が低下している。</li> <li>今後は目標値の達成に向けて、企業誘致等を積極的に進めるなど、これまでの取組みを継続していくため、現行の施策(目標)構成どおりとする。</li> </ul>
-----------------------------------	---

目標(7) みんなでまちをきれいにします【環境】	
目標達成に向けての考え方	人類の共有財産である地球環境を守るため、一人ひとりが地球環境に対する意識を高め、地域・学校・事業者・関係機関と力を合わせて環境に配慮した取組みを実践し、環境の負荷が少ない、快適できれいなまちを、次世代に引き継ぎます。
目標が達成された姿	①資源化が進み、ごみの量が減っています。 ②ごみの散乱がなく、きれいで住みやすいまちになっています。 ③環境に配慮して行動する市民、事業者が増えています。 ④地球環境に対する意識が高まっています。

施策(目標)構成を「現行どおり」とする理由 ・ 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>「1人1日あたりの家庭ごみ排出量」が目標値に達していない。</li> <li>みんなで目指すまちづくり指標「環境美化推進員の人数」の廃止を検討するとともに、企業との連携を図るなど、ごみの減量に向けてより一層取り組んでいくため、後期においても現行の施策(目標)構成どおりとする。</li> </ul>
-----------------------------------	--

# 後期基本計画 施策(目標)構成 検討報告

## 基本目標Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

とりまとめグループリーダー  
 目標(8) : 都市整備グループリーダー  
 目標(9) : 都市防災グループリーダー

### 1. 中期基本計画の施策(目標)構成

目標(8) ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくります【都市基盤】	
目標達成に向けての考え方	住み続けたいと思える快適なまちをつくるために、地域の特性に応じた秩序ある土地利用を推進し、住環境、ライフライン、道路、景観・憩いの場など、都市を形成するそれぞれの要素を調和(ハーモニー)させていきます。
目標が達成された姿	①都市空間の調和が保たれ、快適に暮らせる住環境やライフラインの整備が進んでいます。 ②誰もが日常生活において、スムーズに移動できる環境づくりが行われています。 ③公園・緑地などが、やすらぎや愛着・誇りが感じられる憩いの場として親しまれ、笑顔と賑わいであふれています。



### 2. 後期基本計画の施策(目標)構成【案】

施策(目標)構成を「現行どおり」とする理由 ・ 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>「暮らしやすい環境が形成されていると感じている人の割合」が年々低下している。</li> <li>しかしながら、暮らしやすい都市空間の形成については、短期で成果が出るものではない。長期的視点で考え、これまでの取組みを継続していくため、現行の施策(目標)構成どおりとする。</li> </ul>
-----------------------------------	--

目標(9) 安全・安心が実感できる地域づくりを進めます【防犯・防災】	
目標達成に向けての考え方	近い将来に発生が予測される大震災に加え、集中豪雨・台風・火災などの災害、身近に起きる犯罪・交通事故から生命を守り、被害を最小限に食い止めるため、市民・地域・事業者・関係機関・行政がそれぞれの役割を果たしつつ、地域ぐるみで安全・安心に暮らせる環境を築いていきます。
目標が達成された姿	①市民一人ひとりの防犯や防災に対する意識が高まっています。 ②「自助」「共助」「公助」を基本とした防災・減災対策、防犯・交通安全対策など、安全・安心を守る活動が地域ぐるみで行われています。 ③誰もが安全で安心だと感じながら暮らしています。



施策(目標)構成を「現行どおり」とする理由 ・ 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分自身が災害への備えができていると思う人の割合」が目標値に達していない。</li> <li>今後も市民の防災・減災意識を醸成することを目的に、防災ネットきずこう会を開催するなど、これまでの取組みを継続していくため、現行の施策(目標)構成どおりとする。</li> </ul>
-----------------------------------	---